

第3回福祉用具専門相談員研究大会

開催案内

【テーマ】

福祉用具の未来につながる専門性の追求
～ PDCAサイクルの推進は福祉用具の適合が鍵 ～

2022年6月16日（木）

会場：ニッショーホール（オンライン併用）

大会長メッセージ

令和元年、新時代の幕明けとともに業界として初めて開催した福祉用具専門相談員研究大会は、手探りの中で開催する意義と手ごたえを掴んだ第1回を皮切りに歩み出しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、2年越しの開催となった第2回は、昨年6月に「WITH・コロナ」の象徴であるオンライン形式を取り入れることで開催に漕ぎつけることができました。日本全国から900名を超える参加者を集めることが叶い、集合形式に頼らない大会の在り方を模索、経験する機会となりました。

そして迎えるこの第3回は、社会経済活動と感染対策との両立を念頭に、第1回、第2回で培った経験を活かした研究大会のさらなる発展と、福祉用具専門相談員が成長する機会を我々のもとに運んでくれることを祈念しております。

第3回研究大会の大会テーマは「福祉用具の未来につながる専門性の追求～PDCAサイクルの推進は福祉用具の適合が鍵～」としました。

福祉用具・住宅改修サービスは、地域包括ケアシステムの概念を表す植木鉢の図にある「すまいと住まい方」への自立促進と介護負担軽減の観点に基づく支援プログラムです。住み慣れた地域で、その人らしい暮らしの土台づくりを担っています。福祉用具専門相談員は、その専門性を遺憾なく発揮し、この「すまいと住まい方」の最適化を図ることが責務であり、その役割が期待されています。適時・適切な福祉用具・住宅改修サービスが選択され、変化していく「すまいと住まい方」に適合させていくことこそが我々、福祉用具専門相談員の使命であると考え、この大会テーマとしました。

目の前に迫った2025年には、推定38万人の介護人材が不足すると言われていています。この不足を補うものとして、介護ロボットや先端テクノロジーを搭載した福祉用具は更なる進化を遂げていくことでしょう。福祉用具専門相談員はこの進化への対応力も合わせて、さらなる専門性の向上と能力開発が求められています。

この研究大会は、福祉用具専門相談員が持つ専門性と、職能として成長を遂げていることを発信する絶好の場です。多くの皆様の参加をお待ちしております。

1. 研究大会開催概要（予定）

【大会名称】

第3回福祉用具専門相談員研究大会

【主催】

第3回福祉用具専門相談員研究大会 実行委員会

【共催】

（一社）全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

（一社）日本福祉用具供給協会（日福協）

【大会組織】

大会長 岩元 文雄（全国福祉用具専門相談員協会）
副大会長 小野木 孝二（日本福祉用具供給協会）
大会顧問 幸田 正孝（元 厚生省事務次官）
山内 繁（元 国立障害者リハビリテーションセンター研究所長）

実行委員会

委員長 山下 和洋（株式会社ヤマシタ）
委員 千葉 博（株式会社サカイ・ヘルスケア）
古沢 林太郎（株式会社トーカイ）
肥後 一也（株式会社カクイックスウィング）
玉利 健一郎（株式会社カクイックスウィング）
伊藤 広成（日本福祉用具供給協会）
淡路 陽子（日本福祉用具供給協会）
中村 一男（全国福祉用具専門相談員協会）
福島 伴彦（全国福祉用具専門相談員協会）
柳田 磨利子（全国福祉用具専門相談員協会）
池本 和樹（全国福祉用具専門相談員協会）

運営協力 小林 毅（日本医療科学大学）
顧問 酒井 博人（総合メディカル株式会社）

倫理委員会

委員長 白澤 政和 氏（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野 教授）
委員 中村 一男
池本 和樹

査読委員会

委員長 東畠 弘子 氏（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授）
委員 中村 一男
池本 和樹

【後援】（予定）

厚生労働省、東京都保険福祉局

（一社）回復期リハビリテーション病棟協会、（公社）関西シルバーサービス協会、
（一社）こうしゆくゼロ推進協議会、国際医療福祉大学大学院、姿勢活動ケア研究会
（一社）シルバーサービス振興会、（公社）全国国民健康保険診療施設協議会、
（一社）全国デイ・ケア協会、全国福祉用具相談・研修機関協議会、（公社）全国老人福祉施設協議会、
（公社）全国老人保健施設協会、（公財）テクノエイド協会、
（特非）東京都介護支援専門員研究協議会、（一社）ナチュラルハートフルケアネットワーク、
（公社）日本医師会、（一社）日本介護支援専門員協会、（公社）日本介護福祉士会、
（一社）日本義肢協会、（公社）日本義肢装具士協会、（一社）日本車椅子シーティング協会、
（一財）日本車椅子シーティング財団、（一社）日本ケアマネジメント学会、（一社）日本言語聴覚士協会、（一社）日本在宅介護協会、
（一社）日本作業療法士協会、（公社）日本社会福祉士会、（一社）日本褥瘡学会、
（一社）日本生活支援工学会、（一社）日本ノーリフト協会、（一社）日本福祉用具・生活支援用具協会、
（一社）日本福祉用具評価センター、（公財）日本訪問看護財団、（公社）日本理学療法士協会、
（公社）日本リハビリテーション医学会、（特非）日本リハビリテーション看護学会、
（一社）日本リハビリテーション工学協会、（一社）日本リハビリテーション病院・施設協会、
福祉用具プランナー研究ネットワーク

※50 音順

【プログラム】（予定）

『第一会場：メインホール』

- ・ 受付開始 10:00 ～
- ・ 開会セレモニー 11:00 ～ 11:30
大会長挨拶
来賓挨拶
- ・ 特別講演 11:40 ～ 12:20
講師：香取 照幸 氏
上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 教授
2002年厚生労働省老健局振興課長
2010年厚生労働省政策統括官（社会保障担当）
- ・ 演題発表 13:20 ～ 16:30
- ・ シンポジウム 16:50 ～ 17:30
- ・ 閉会式 17:30 ～ 17:40

『第二会場：大会議室』

- ・ ランチオンセミナー 12:20 ～ 13:00
- ・ 演題発表 13:20 ～ 16:40

『第三会場：A会議室』

- ・ 演題発表 13:20 ～ 14:10
- ・ 老健事業報告 14:30 ～ 15:30

【演題発表座長】

テーマ1：河川 青児 氏（福岡医健・スポーツ専門学校 副校長、
元 厚生労働省老健局振興課福祉用具
・住宅改修指導官）

テーマ2：東島 弘子 氏（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授）

テーマ3：内田 正剛 氏（医療法人 堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院
地域づくりセンター センター長）

テーマ4：田中 紘太 氏（株式会社マロー・サウンズ・カンパニー代表取締役）

テーマ5：木村 太郎 氏（株式会社トーカイ）

湯脇 稔 氏（株式会社カクイックスウィング）

2. 発表者募集要項

※申込者数が上限に達したため、受付を終了しました。

【募集内容】

口述発表 30組程度（個人又はチーム）

【応募要件】

- ・ ふくせん会員または日福協会会員所属の福祉用具専門相談員であること
※個人、事業所またはチームでの応募が可能です。
※チームでの応募の場合、筆頭の発表者はふくせん会員または日福協会会員所属の福祉用具専門相談員である必要がございます。共同演者には、他職種（介護支援専門員、作業療法士、理学療法士等）や、福祉用具メーカー（但し、ふくせん賛助会員または日福協会会員に限る）の登録が可能です。
※上記以外の発表者形式をお考えの場合は事務局までお問合せください。
- ・ 別途、大会長または副大会長が推薦する者

【発表内容】

大会テーマに沿った以下発表を募集します。

テーマ区分	関連キーワード	
テーマ1： PDCAサイクルの推進	アセスメント	モニタリング
	ADL・QOL改善	多職種連携
	福祉用具適合・調整	住環境整備
	評価スケール（BI・FIM等）	科学的介護情報システムLIFE
テーマ2： 福祉用具安全利用に向けた取り組み	福祉用具事故対応	ヒヤリハット
	メンテナンス（保守）	モニタリング（適合評価）
	事故防止・再発防止の取組	自治体連携
	安全講習会・研修会	福祉用具事故情報
テーマ3： 福祉用具メーカーとの連携・協働	製品普及	製品安全
	製品開発	居宅におけるエビデンス
	介護ロボット・先端テクノロジー	ICT化
	社会実装・実証	メーカー協働事例
テーマ4： 地域、多職種連携、事業所の取り組み	退院・退所前カンファレンス	地域包括ケアシステム
	チームアプローチ	地域ケア会議
	人材育成	福祉用具啓発
	災害・感染対応（BCP）	高齢者施設
テーマ5： 経験3年未満相談員の福祉用具導入事例（チャレンジ発表）	自立支援	介護負担軽減
	ADL・QOL改善	介護予防
	住環境整備	困難事例対応
	教育・研修・自己研鑽	スキルアップの取り組み

※関連キーワードは演題作成にあたっての参考であり、全てのキーワードを網羅する必要はありません。

※テーマ3の「福祉用具メーカーとの連携・協働」において、福祉用具メーカーが福祉用具貸与事業所（福祉用具専門相談員）に対して連携の働きかけをご検討の場合で、連携先にお困りの場合は事務局までお問合せください。

※テーマ5の「経験3年未満」とは、発表申し込み時点での経験年数といたします。

【演題登録料】

無料

【演題の二次使用权について】

演題（抄録）の二次使用权・許諾権は ふくせんおよび 日福協に帰属します。

【発表方法】

- ・パワーポイントを使用して発表して頂きます。
- ・発表後、質疑と座長コメントの時間がございます。
- ・制限時間については、発表 7 分・質疑 3 分を原則とします。
- ・発表する場所は、会場又はオンラインを選択できます。

【倫理的配慮について】

利用者等のプライバシー保護の観点から倫理的配慮について、本研究大会倫理委員会が確認を行います。研究の計画・実行・分析・抄録作成の過程では、個人の尊厳、人権の尊重に最大限の配慮をお願いします。抄録原稿様式において、具体的にどのような方法で倫理的配慮を行ったかを記述していただきます。

【募集期限】

発表申込・抄録提出 2022 年 2 月 28 日（月）

※倫理審査、査読審査、選考を行います。選考結果については 2022 年 3 月下旬を目途にお知らせ致します。

【発表の申込について】

発表の申込については以下フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/Tz2fjMTj5vyUkniDA>

【抄録原稿の提出について】

別紙 1 「抄録原稿」に記入頂きご提出ください。抄録原稿の記入にあたっては、別紙 2 を参考にしてください。

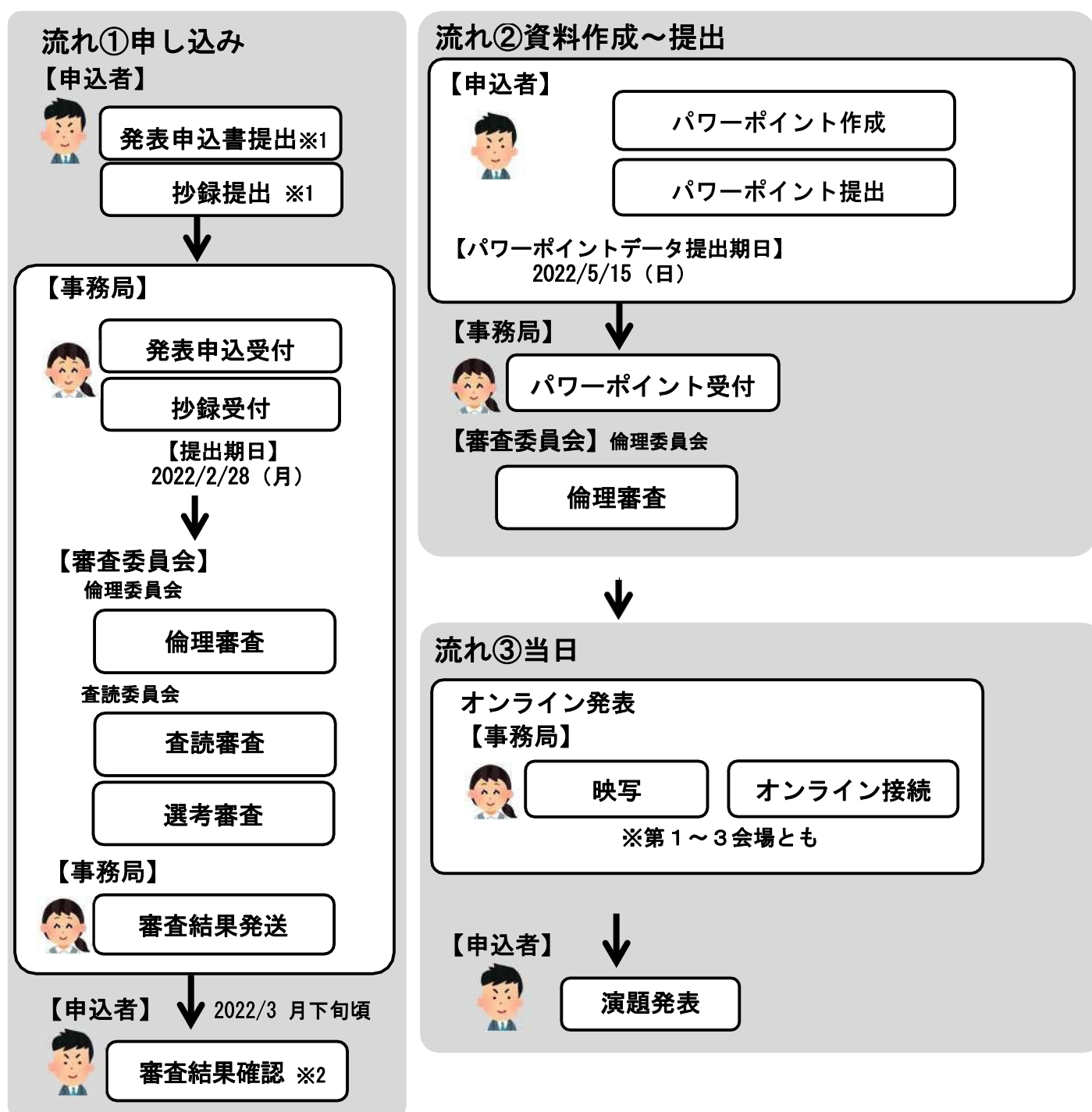
審査を通過した抄録原稿は、抄録集として参加者へ配布されます。

【演題登録までの流れ】

- ①募集期間終了後、倫理審査、査読審査、選考を行います。
- ②審査結果を応募者に返答します。（3 月下旬頃）
 - ・選考に残った方は発表資料（パワーポイント）を作成して頂きます（〆切 2022/5/15）。
 - ※パワーポイントの作成方法などについては、審査結果と併せてご連絡致します。
 - ※この段階で、発表する場所（会場又はオンライン）の希望をお伺いします。

- ・尚、抄録原稿はプログラム集及び抄録集に掲載します。

【申し込み から 当日までの流れ】



※ 審査結果が発表可能であった場合に、流れ②へ進みます。その際にパワーポイント作成にあたっての注意事項等をお知らせすると共に、発表する場所（会場又はオンライン）の希望をお伺いします。

3. 参加募集について

本研究大会への参加を広く募集いたします。募集は、新型コロナウイルスの感染状況を勘案して、現地参加とオンライン参加のどちらも可能としており、詳細については以下のとおりとなります。是非、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

【参加人数】

現地会場定員目安：200～300名（新型コロナ対策水準に応じて設定します。）
オンライン参加可能人数：基本的に制限なし

【参加費用】 ※現地参加、オンライン参加とも同じです。

事前（割引）申込【5月31日までのお申し込み】

ふくせん、日福協いずれかの会員および賛助会員：1名3,000円（税込）
非会員：1名5,000円（税込）

※現地参加の方は、大会当日に抄録集をお渡しします。

※オンライン参加の方は、大会前日までに抄録集をお送りします。

直前申込【6月1日から当日までのお申し込み】

ふくせん、日福協いずれかの会員および賛助会員：1名5,000円（税込）
非会員：1名10,000円（税込）

※事前（割引）申込と同様に抄録集をお渡ししますが数量に限りがございます。

先着順となります事を予めご了承ください。

抄録集冊子のみの購入

抄録集冊子代：1冊2,000円（税込、送料別）

【昼食について】

昼食の持ち込みは禁止です。

会場指定の弁当（お茶付）のご予約を承ります（参加申込時にご予約ください）。

もしくは会場周辺の飲食店のいずれかでお済ませください。

※ 弁当をお申し込み後、キャンセルされる場合は6月3日までに事務局までご連絡ください。それ以降のキャンセルは返金できかねますので予めご了承ください。

【ランチョンセミナーについて】（予定）

時 間：12:20～13:00

場 所：第二会場 大会議室

演 題：「人生の最期まで食べる幸せを支えるために」

講 師：小山 珠美 氏（NPO法人 口から食べる幸せを守る会 理事長）

共 催：シーホネンス株式会社

定員：48名（定員になり次第、受付を終了します）

※1. 昼食(弁当・お茶を支給)を召し上がりながらセミナーを聴講していただきます。

ランチョンセミナーは参加申込時にご予約ください。

※2. 新型コロナウイルス感染状況により、中止する可能性がございます。

中止の際は5月中旬ごろを目途にご連絡させていただきます。

【懇親会について】（予定）

時間：18:00～19:30

場所：汐留シティセンター 41階「LUMIVEIL TOKYO」

会費：6,000円

定員：90名（定員になり次第、受付を終了します）

※1. 新型コロナウイルス感染対策に配慮した会場レイアウトで開催いたします。

ただし、感染状況により中止する可能性がございます。

中止の際は5月中旬ごろを目途にご連絡、ならびに会費をご入金いただいた方々に返金させていただきます。

※2. 懇親会は参加申込時にご予約ください。

なお、お申し込み後キャンセルされる場合は5月13日までに事務局までご連絡ください。それ以降のキャンセルは返金できかねますので予めご了承ください。

【申し込みについて】

各種申込については以下フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/NFbHb6hvNhBD9woY8>

※通常（割引）申込締切は5月31日（火）とさせていただきます。

締切日を過ぎての申込は直前申込扱いになりますことをご注意ください。

※大会当日、会場においては新型コロナ対策の関係から、

移動などを制限させていただく可能性がございます。

※企業様等、団体でお申し込みされる際は以下のURLよりエクセル資料をダウンロードしていただき、ご記載の上事務局までお送りください。

https://www.zfssk.com/sp/1912_research/form.xlsx

4. 協賛募集について

本研究大会では、ご協賛いただける法人様を募集いたします。
 詳細につきましては、以下のとおりとなります。

【募集対象】

法人様（会員・非会員）

【広告協賛（抄録冊子）】

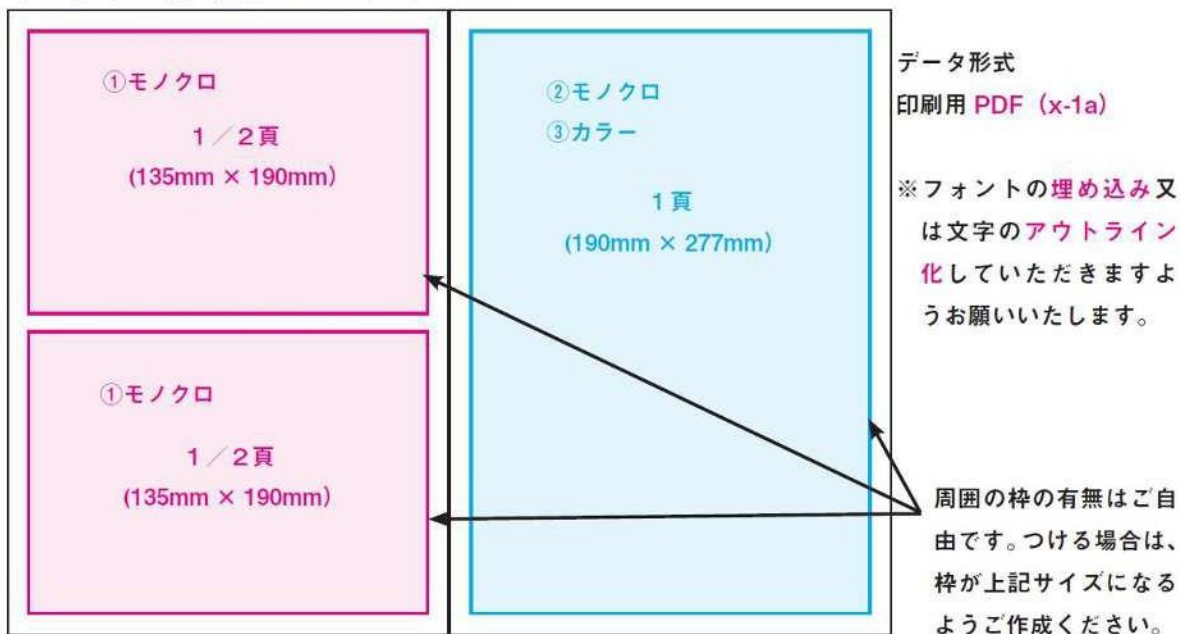
募集終了
 募集終了
 募集終了

No.	仕様	枚数	協賛金（税込）	
			会員※1	非会員
1	表4：カラ A4サイズ（190mm×277mm）※2	1件	150,000円	250,000円
2	表2：カラ A4サイズ（190mm×277mm）※2	1件	100,000円	200,000円
3	表3：カラ A4サイズ（190mm×277mm）※2	1件	100,000円	200,000円
4	抄録内：モノクロA4サイズ（190mm×277mm）	—	50,000円	100,000円
5	抄録内：モノクロA4 1/2サイズ（135mm×190mm）	—	30,000円	60,000円

※1：「会員」とはふくせん、日福協いずれかの会員および賛助会員を指します。

※2：表4とは裏表紙、表2とは表紙を開いた裏側（内側）、表3とは裏表紙の裏側（内側）を指します。

抄録集（A4判）広告頁レイアウトイメージ



【展示協賛】※3

No.	仕様	枚数	協賛金（税込）	
			会員	非会員
6	180cm×120cm（長机2台分）展示協賛のみ	7件	50,000円	100,000円
7	180cm×120cm（長机2台分）広告・展示両方でご協賛※4		30,000円	80,000円

※3：展示ブースの位置は申し込みいただいた順に事務局で割り振らせていただきます。

※4：広告協賛と併せてご協賛いただける場合は、20,000円の割引をさせていただきます。

~~【ランチョンセミナー 協賛】~~

募集終了

No.	仕様	枠数	協賛金 (税込)	
			会員	非会員
8	ランチョンセミナー (12:20~13:00 大会議室)	1件	100,000円	200,000円

【協賛申し込みについて】

協賛申込については以下フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/FGHLswb1M26yZxe39>

【注意事項】

抄録集への協賛広告掲載について、申込期日及び入稿期日を 4 月 30 日 (土) とさせていただきます。

5. 名刺広告募集について

本研究大会では、抄録冊子への名刺広告掲載を募集いたします。

詳細につきましては、以下のとおりとなります。

【募集対象】

ふくせん・日福協の会員

【募集概要】

広告サイズ：縦 66mm×横 47mm

※お申し込み件数により枠サイズの調整を行う場合がございます。

掲載料：1 枠あたり 10,000 円 (税込)

【名刺広告申し込みについて】

名刺広告申込については以下フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/rVTU7gZZbbzo8irGA>

【注意事項】

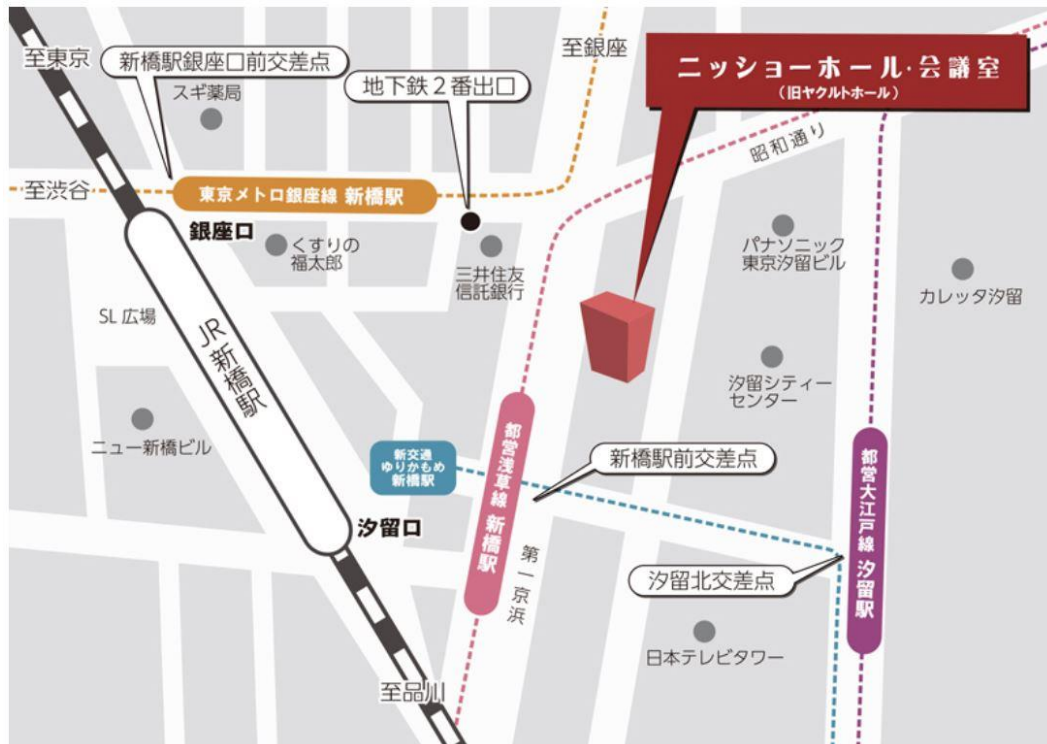
抄録冊子への名刺広告掲載については申込期日を 4 月 30 日 (土) とさせていただきます。

6. その他事項

【会場】

ニッショーホール

所在地：東京都港区新橋1-1-19



| 最寄り駅 |

- JR 新橋駅 「銀座口」より徒歩3分
- 都営地下鉄浅草線 新橋駅 「汐留1番出口」より徒歩1分
- 都営地下鉄大江戸線 汐留駅 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅 「2番出口」より徒歩2分
- 新交通 ゆりかもめ 新橋駅 「1C出口」徒歩3分

本研究大会について、ご不明な点などございましたら下記事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 事務局（担当：福島、中村、柳田、池本）

電話：03-5418-7700 FAX：03-5418-2111

email：info@zfssk.com

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 事務局（担当：伊藤、淡路）

電話：03-6721-5222 FAX：03-3434-3414

email：jimukyoku@fukushiyogu.or.jp

別紙 1

第3回福祉用具専門相談員研究大会抄録原稿

氏名(所属)

【演題】 (フォント：MS明朝, フォントサイズ：10.5) (要旨文字数：全角約300文字)

演題
(副題)

要旨

【本文】 (フォント：MS明朝, フォントサイズ：10.5) (本文文字数：全角約1,250文字)

【目的】

【方法】

【倫理的配慮】

【結果】

【考察と今後の課題】

別紙 2

第 3 回福祉用具専門相談員研究大会抄録原稿（サンプル）

氏 名(所 属)

水越 良行（株式会社ヤマシタ）

【演題】 (フォント：MS明朝，フォントサイズ：10.5) (要旨文字数：全角約300文字)

演題 (副題)	社内研修による人財育成とサービス品質の向上
要旨	福祉用具貸与はサービス業であり「人財」が品質の要である。サービス品質を高めるための社内研修について、その取り組みと成果の一部を報告する。

【本文】 (フォント：MS明朝，フォントサイズ：10.5) (本文文字数：全角約1,250文字)

【目的】

ヤマシタのサービスの根幹は高い専門性や提案力である。特に社員研修に力を注ぎ、充実させることで社員一人ひとりのスキルを高めサービスの品質を向上させる。身につけた専門性を武器に利用者の個別性やニーズに適合したサービスの提供を実現する。これによりケアマネジャーの評価や地域からの信頼を集める。研修においては知識の習得だけでなくそれを「発揮」することが重要であると考え、提案力や発言力、伝える力、マナーを含めたコミュニケーションスキルを全ての職種において教育する。特に新入社員については、事業拡大における人員補充や配置と連動し、育成による早期戦力化を目指す。

【方法】

年間約 300 回の集合研修と現場リーダーを中心とした OJT との連動。研修の企画・運営・講師として社内から選抜した「研修チーム」を発足させ研修運営を完全内製化する。それにより職種やキャリアに応じ、現場の実業務に即したカリキュラムを実践できる。新入社員については 2 か月間の合宿型研修を開催し早期戦力化を図る。全ての研修において、グループワークやロールプレイを中心にアウトプットトレーニングのウェイトを高めている。社員個別の育成計画書を活用し現場リーダーと研修チーム連携による育成の管理、また、事後課題の抽出や定期的な確認テストを実施し知識や技術の定着化を図る。

【倫理的配慮】

*利用者等のプライバシー保護の観点において、どのようにして倫理的配慮を行ったか記入します。

例：文書（もしくは口頭）にて、匿名を条件に利用者本人の承諾を得た。

【結果】

2018 年度入社の新入社員においては、入社初年度に全員が通期の業績目標を達成。既存社員については、ヤマシタ「5つの専門性」（以下記述）を中心に研修を実施し、特に提案力や調整力が必要な商材に関して以下の成果につなげている。

- ・移乗用具（リフト、スライディングシート・ボード）の出荷数 42%増加。
- ・車いす出荷におけるモジュール車いすの割合 10%上昇。

※ヤマシタ「5つの専門性」とは

1. 転倒しない環境提案（トータルコーディネート：アセスメント力）
2. 誤嚥を防ぐ支援（臥位・座位の姿勢管理：適合力）
3. 認知症に寄り添う（症状の理解：コミュニケーション力）
4. 「座る時間」を快適に過ごす（車いすシーティング：調整力）
5. 持ち上げない抱え上げない介護（ノーリフト普及：提案力）

【考察と今後の課題】

若手社員のフォローアップを中心に、研修で学んだ知識を発揮し成果につながる取り組みを現場と一体となり展開していく。ヤマシタのプロミス「からだ、こころ、くらしの豊かさを届け続ける」を行動に移し、より多くのお客様が今よりも自己実現できる生活環境を継続して届けていく。また、研修チームメンバーが福祉用具専門相談員更新研修や福祉用具サービス計画書 SV 研修などの講師として協力しており、福祉用具専門相談員のスキルアップや業界の発展にも微力ながら貢献できるよう活動していきたい。